

〔様式 1〕

## 事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月20日			
平成15年度	事業コード	23210	電話	042-769-8229
担当部課名	市民部	交通安全	課	
事務事業名	交通安全思想普及啓発費（チャイルドシート普及啓発費）			

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第3章	安全に暮らせる都市の実現をめざします	事業開始年度
基本施策名	第2節	安心して暮らせるまちづくり	12年度
施策名	第1施策	交通事故のないまちづくり	

## 2 実施根拠及び関連法令等

道路交通法
-------

## 3 事務の区分

自治事務
------

## 4 経費の区分

その他の経費
--------

## 5 事務事業の分類

市単独事業
-------

## 6 受益者負担

なし
----

## 7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
相模原交通安全協会が行うチャイルドシート貸出事業に対して補助金を交付し、着用が義務付けられたチャイルドシートの普及促進を図る。	市内在住で1歳未満の乳児を養育する運転者
	対象数 300人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
相模原交通安全協会に補助金を交付。 補助金額 1,440千円	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	チャイルドシート貸出事業
計画年次	12年度～14年度
	事業主体 相模原交通安全協会 貸出台数 300台 貸出期間 6ヶ月

## 8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	チャイルドシート着用率	チャイルドシート着用率(警察、JAF調査数値)	チャイルドシート着用状況から事業の目的達成状況を把握する	75	80	75	100	100
	チャイルドシート貸出率	実貸出台数/貸出台数	事業の効率的な運用状況を把握する	100	100	100		

## 9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費					
決算(予算)額	4,440	1,440	1,440	0	0
人員・時間数	0.1/人・年	0.1/人・年	0.1/人・年		
人件費	90	90	90		
その他経費	0	0	0		
合計	4,530	1,530	1,530	0	0
特定財源	0	0	0		
対象数	300	300	300		
対象の単位あたり経費	15.1	5.1	5.1	#DIV/0!	#DIV/0!

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	チャイルドシートの着用率は、7割を超え、普及促進及び意識高揚という本事業の目的は達成されたものと思われる。
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B:一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある
		説明	道交法改正によるチャイルドシート着用義務化に合わせ、その着用を促進し、乳幼児の交通事故による被害の軽減を図る。
(3)有効性 評価 A ▼	A:有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		
		説明	チャイルドシートの着用促進を通じ、交通安全意識の高揚を図る。
(4)効率性 評価 A ▼	A:優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
		説明	本補助対象事業では、使用(必要)期間の短いチャイルドシートをリサイクル活用することで、事業に要するコストの上昇を抑えている。
(5)公平性 評価 A ▼	A:公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> ない	説明: 本事業の目的は概ね達成したと判断されるため、本事業は平成14年度をもって終了する。	手段	平成15年度以降は、相模原交通安全協会の自主事業として実施予定であるため、補助金の交付は終了。(平成14年度補助額1,440千円)
		削減額	1,440 千円

11 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較	
		貸出方式(本市) ・1台あたり単価 24,400円(総事業費/300台) ・1台あたり回転数 2回/年×3年=6回転/台 ・貸出1台あたりの単価 24,400円/6回転 4,067円	購入費補助方式 ・1台あたり単価 10,290円(実績) ・補助率 1/2(他市事例) ・1台あたりの補助金額 10,290円×1/2=5,145円
今後の進め方		総合評価に関する説明	
<input type="checkbox"/>	継続	本事業の目的である着用普及促進は、着用率の上昇から概ね達成したと判断されるため、本事業は本年度をもって終了とする。 今後は、市交通安全都市推進協議会等の関係機関と連携し、チャイルドシートの着用率の向上及び正しい取り付け方などの普及啓発活動を推進して行く。 なお、県内19市のうち貸出事業を行っているのは15市であり、うち11市において事業の目的が達成されたことを理由に事業の終了を決定している。	
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input checked="" type="checkbox"/>	完了・廃止済		

12 二次評価コメント